

## 公募動向と交付金を活用した今後の事業戦略 「定期巡回・随時対応型サービス」の市長村における

今セミナーは、2012年4月改定で新サービスとしてスタートした「定期巡回・随時対応型サービス」について、4名の講師を迎えて講演・全体討論を行った。



松山 政司 氏

説。次に具体的な事業のイメージ

ジをモデル事業中間報告より紹介。利用者は平均要介護度3。訪問看護の利用状況は要介護5で約6割。認知症の方の利用数は認知症自立度1以上が7割。

利用者の約7割が独居高齢者世帯のみの世帯。提供時間は20分未満が約6割、サービス内容は排泄介助、服薬介助、水分補給、体位交換などであった。第5期介護保険事業計画のサービスの見込みやハード・ソフト

まず始めに、厚生労働省老健局振興課基準第一係長 松山 健司氏が介護保険制度を取り巻く状況や介護報酬改定の概要について解説。定期巡回・随時対応型サービス（以下、定期巡回）は、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に又は、それぞれが密接に連携しながら定期巡回訪問と同時に定義や基本単価、加算、人員、設備基準や運営基準なども解



小山 刚氏



松野 雄太氏



荒井 信雄氏

定期巡回の報酬改定を説明。次に定期巡回の参入について、いざでは地域独占になる可能性が高い、公募制と協議制のタイミングを見極め、報酬改定を実施する。また、生活援助サービスの算定領域の明確化をもつと進めることであると言及。一番の運営は、訪問介護と夜間対応訪問をして、事業収支をあわせたモデルとして成功していくことが大切である。また、サービス付き3人の看護で支えている。地域においても100名を34人で介護することは可能であると強調。最後に今までの仕組みを進めていくことは、難しくなってくるであろう。今後は、それぞれの地域や場所にあった仕組みを創造していくことが必要であるとまとめた。

Visionと戦略 2012.7 | 22

続いて、社会福祉法人長岡福園の24時間ケアステーションの運営と訪問手順などを説明。また、訪問時の様子や受診端末、将来像・地域包括ケアについて解説。定期巡回・随時対応型サービス（以下、定期巡回）は、日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護を一体的に又は、それぞれが密接に連携しながら定期巡回訪問と同時に定義や基本単価、加算、人員、設備基準や運営基準なども解説。やさしい手は、高齢者住宅を拠点として、ご利用者様のご自宅で生活全体を支えることによるビジネスとして掲げている。次に千葉市のライフガーデン千葉浜野を紹介。独自に開発した、介護サービスの提案システムも紹介。訪問介護事業の展望として、中心的な役割を担っていく定期巡回を重要視して、事業収支をあわせたモデルとして成功していくことが大切である。また、サービス付き3人の看護で支えている。地域においても100名を34人で介護することは可能であると強調。最後に今までの仕組みを進めていくことは、難しくなってくるであろう。今後は、それぞれの地域や場所にあった仕組みを創造していくことが必要であるとまとめた。

最後に、全国訪問介護協議会会長・株式会社さくらケアの運営として、私費サービス（家庭）の開発を進め、自治体の状況を見えて定期巡回に切り替えた。

今セミナーは、2012年4月改定で新サービスとしてスタートした「定期巡回・随時対応型サービス」について、4名の講師を迎えて講演・全体討論を行った。

次に、株式会社やさしい手の運営として、私費サービス（家庭）の開発を進め、自治体の状況を見えて定期巡回に切り替えた。

次に、株式会社やさしい手の運営として、私費サービス（家庭）の開発を進め、自治体の状況を見えて定期巡回に切り替えた。

次に、株式会社やさしい手の運営として、私費サービス（家庭）の開発を進め、自治体の状況を見えて定期巡回に切り替えた。

（文／石峯なほみ）